

台風19号計画運休、職場問題を解決しよう！③ 会社「何が何でも出て来い！」 命がけで峠越え40km自転車出勤

本紙前号で、強引な出勤の「お願い」について、問題提起をしました。今回は、JR東海労の調査によって判明した、常識では考えられない事象を明らかにします。

ある職場では10月13日早朝に出勤する静岡市在住の社員に対し、管理者は12日中に職場に出てくるように強要しました。12日は、東海道本線は終日運休、国道1号線も東名高速も新東名高速も農道も通行止めでした。仕方なくその社員は、農道の迂回道路を自転車で峠を越えて職場に行ったのでした。

台風19号は、河川氾濫、堤防決壊、土砂崩れ、土砂崩壊など、多くの被害をもたらしました。避難のため道路を走行中の車も犠牲になりました。土砂崩れ、

土砂の危険がある道路を使わせたのは、紛れもなく会社です。

国は「命を守る行動を！」と呼びかけました。しかし、会社は「何が何でも出て来い！」と、正反対の指示をしたのです。社員の命は大切ではないのでしょうか？何かあったら、誰が責任を取るのでしょうか？

JR東海労は、このような命令の出した会社を許さず、闘います。

